

令和5年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

評価項目			令和5年度計画		実施状況		評価				
I 文化事業	指定管理者提案(要旨)		取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価			
1 文化芸術活動をはじめとする市民の活動の場となる(使命1)	1 利用者の気持ちにそった施設運営	使いやすい施設貸し出し	■横浜市民利用施設予約システムのご案内や施設見学に対応する	継続実施	予定より遅れて11月中旬に導入。不具合や苦情対応に苦慮した。施設間、スタッフ間で情報共有に勉め、一丸となって問題解決にあたった。	新予約システム導入にあたり、データ移行や随時予約についてテストを実施するほか、導入後、抽選処理や帳票作成、利用者登録等の不具合の洗い出しと検証を行った。 6月と10月に配布されたテキストと日々更新される不具合への対処方法について、施設間で共有し、ポイントを整理して小まめにスタッフ研修を実施した。 利用者からの問合せや苦情に対しては十分な聞き取りを行い、問題点を洗い出してサービスセンターとともに問題解決にあたった。	【成果】 新型コロナウイルス感染症の5類移行にともない、各種利用制限が撤廃されたものの、利用にあたっての不安払拭のためにも、消毒液の設置や、備品の消毒作業などの対応は継続して行いました。 11月の予約システム更新にともなうお問い合わせ、トラブル対応についても、現場としてできる限りの対応に努めました。また同時に、新たな利用者獲得のため、既存のお客様からご意見聴取して、現場へ反映したり、オープンデーを開催しての施設や利用団体の活動紹介を行うなどの取り組みをしました。 また、岩間市民プラザ内の借恵いわまワークスとの協力事業「わくわくマーケット×いわまオープンデー」を開催。室場の見学、各種体験講座を実施するとともに、ワークスとプラザの利用者がお互いの施設を利用するきっかけにもなりました。  【課題】 施設や設備の老朽化や陳腐化への対応は困難です。利用率そのものはコロナ以前に戻りつつありますが、本番公演の利用は減少傾向にあり、オーケストラ等の練習利用が増えています。 また、区の事業等の協力事業への貸出と一般利用者への貸し出しのバランスについてはさらなる調整が必要です。	【評価できる点】 ・吉野町市民プラザと併せてアクセス動画をホームページに掲載し、市民の方へ周知するための取組をしたことを評価します。  ・新型コロナウイルス感染症の影響により開催できていなかったオープンデー等を開催して、施設や利用団体の活動紹介を評価します。  【更なる取組を期待する点】 ・オープンデー等は新たな利用者を獲得するチャンスになります。効果的な広報を行い、より多くの方に来場いただけるよう工夫をお願いします。			
			■利用促進のため、リハーサル割引期間拡大や若年層のギャラリー利用(U25)プランを整理し、書類を整えて横浜市内に申請する	実施	U25プランのほか、「利用要綱」改訂案を提出した	U25プランのほか、新システム導入に伴い変更された事務処理手順や利用料金を反映した「利用要綱」改訂案を提出した。					
		来館者・利用者のニーズの把握に努め、ホスピタリティ向上等につなげる	■利用者アンケートを実施して、意見を収集・分析し、優先順位をつけて対応して業務改善につなげる	実施	スタジオ機材と新予約システムについて利用者アンケートを実施した	1つだけ所持している10タムについて、どのスタジオでも利用できるようルールを決めて貸し出した。新予約システム導入1か月後、システムについて聞き取りを行い、不都合に感じることの共有と利便性の説明を行った。					
	2 施設の周知と利用団体の紹介		■ウェルカム・プラザ実施にむけ、優先団体選定の制度設計とショーケースを行う	実施	「ウェルカムプラザ」の条件を検討し、区の事業や協力事業の受付方法等を整理した	岩間では「ウェルカムプラザ」をホール利用に置き、ショーケースを公募し、優先条件の整理を行った。また、新システム導入に伴い、区の事業や協力事業の受付方法を整理した。					
			□施設紹介動画の作成・公開	実施	アクセス動画作成2館ともにHP更新にむけ、協議・制作	映り込み等の問題が生じ、アクセス動画を撮りおとした。事業等の動画公開にむけ、2館ともにHP更新するべく協議し、本社情報セクションとともに制作に当たった。					
			□施設見学会「ホールたんけんツアー」	1回	施設見学会1日/2回実施	気軽に参加していただくため、フリーの来場者が多い、11/11借恵いわまワークス「わくわくマーケット」&プラザオープンデーのなかで実施した。2組3名参加。					
			□来て見て市民プラザ(オープンデー)	1回	1回実施	11/11 借恵いわまワークス「わくわくマーケット」と同日開催し、全館に来場者が巡回するよう催し物とタイムテーブルを工夫した。					
			□ホールのグランドピアノを弾いてみませんか	12回 30人	3日/15枠 9団体/17名	ホールの連続した空きコマを活用して行う1時間枠のピアノ体験。オーケストラ練習で客席・舞台が収納されるケースが増え、下半期に実施できなかった。					
	2 文化芸術活動への参加の機会を提供する(使命2)	1 多様な糸口をもったあいの事業の開催	音楽講座	□二胡講座	12回/2期 8名	12回/2期 年24回実施 最大13名  体験教室 1回実施			予定通り実施 3月の体験講座では、受講生8名がアシスタントとして指導にあたった。	【成果】 継続した学びのきっかけになる事業(定期講座)に注力しました。こども日舞ワークショップや小筆講座など単発の事業も参加者が学びを継続しやすいよう、地域の教室、地域の先生との協力を心がけ、普段、来館されない方の参加を得ました。  【課題】 アウトリーチについては、会場や外部資金確保の難しさが依然としてあります。コロナ禍をきっかけに外部への貸し出しや企画がとりやめとなり、その後も復活しないイベントなどがあり、会場変更等をして一部実施ができませんでした。会場想定・企画の段階からの仕切り直しが必要です。  【更なる取組を期待する点】 ・アウトリーチ事業の実施のなかで、保土ヶ谷区の魅力を発見するイベントの実施ができませんでした。会場や資金確保が難しい中となり、調整が難しいと思いますが、早めの企画により実施時期を改めるなど、改善を検討し、改めて計画を練り直し、将来的に実施できるよう計画してください。	【評価できる点】 ・多岐にわたる事業を実施し、吉野町市民プラザと協力した事業を展開したことは評価できます。  ・アウトリーチ事業の一環として、「横浜トリエンナーレ」の時期に併せて、マチノトリエンナーレを実施したことで岩間市民プラザの枠に留まらず、施設を出て実施できたことについて、評価できます。  ・文化芸術体験に参加しやすいよう、幅広い音楽公演コンサートや朗読、映像公演を実施し、参加者の実績人数を多く得る結果となりました。また、クラシックコンサートでは、3回セット券を再販することで、リピーターの満足度を高めたことが評価できます。
			演劇・芸能講座	□岩間落語塾	6回/4期 6名	6回/4期 年24回実施 最大6名			予定通り実施		
文化芸術活動に役立つ講座			□着付教室	1講座/24回 10名	年24回実施 最大16名	予定通り実施					
映像講座			□映像制作講座	1講座 10名	1講座実施 吉野町と合同	写真講座「ライブを撮ろう」を2館合同で、吉野町市民プラザ「音楽空間」を被写体に実施。					
			□映像等を発表できる「市民プラザチャンネル」を開設	1回	XIにアップ	「市民プラザチャンネル」開設に向け、2館の施設HPを更新するため協議し、本社情報セクションとともに制作に当たった。					
地元の先生を講師として招く、地域の文化資源発掘講座			□小筆講座	(計画外)	1講座実施 16名	地域の文化資源を活かした、地域の指導者や教室との連携事業。年賀状を書く時期にあわせて、小筆を使った書道体験講座を実施した。					
市民のモノづくり体験を通じて、製作者同士や来場者との交流を生むイベント			□アートマーケット □モノづくり体験コーナー	1回 参加15組	アートマーケット 1回/2組 モノづくり体験 2回実施	利用団体や地域のアート資源を紹介する「アートマーケット」。公募2団体による作品展示と販売、体験コーナーを開催した。また、『いわまワークス通所者作品展』会場で、指導者による「パステルアート体験」を2日間実施した。アート利用が極端に少ないなか、貴重な機会となった。					
2 アウトリーチ事業の実施		オンラインでのイベント開催	□プラザ発・お届けイベント	1回 2館で8組	環境整備	動画コンテンツを掲載できる環境を整えるため、施設HP更新を検討。協議し、制作を行っている。					
		文化団体や文化活動をする人を支援する	□音楽の贈り物@ほどがや	2回 参加200名	ショーケース 参加:4団体 見学・体験:72名	利用団体や地域の音楽資源を地域に紹介する「音楽の贈り物」。コロナ以降、地元企業の会場提供等が難しく、アウトリーチではなく、オープンデーの中で実施。団体の活動を紹介した。見学だけでなく、体験を通じて「やってみたいかったこと」に触れることができた叫好評だった。					
		保土ヶ谷・横浜の魅力を発見する	□歴史と文化の街めぐり	1回 20名	流会 未実施	「秋の薔薇」をテーマに近隣のガーデンとの連携事業として企画したが、会場都合により流会した。仕切り直しを検討したが、冬に入り、野外を含むアウトリーチ事業の開催は参加者の年齢を考慮して断念した。					
			□ほどがや歴史町歩き(ヘリテージ)コンサート	1回 100名	未実施	保土ヶ谷カトリック教会との連携企画。会場提供が再開されず、開催を見合わせた。					
		横浜芸術アクション事業「横浜トリエンナーレ」への参加・協力	要請に応じて協力 □マチノトリエンナーレ	1回	1回実施	トリエンナーレが3月開催となったことから、3月に開催した3館連携事業「ROCKS plus」にあわせて、障がい者によるアート作品を紹介。3/3公演会場に3作品を展示したほか、約1か月間、関内ホール脇「バックストリートギャラリー」に作品を展示した。					

令和5年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

			クラシック音楽を軸にしたコンサート	□午前の音楽会	6回 平均150名	6回実施 平均132名	概ね予定通り実施。後期から3回セット券の販売を再開。公演とは別に販売期間を設けたことで、会場での次回公演先行販売の混雑回避ができ、公演の余韻をより楽しめる効果があった。		
			ポピュラー音楽公演	□レクチャーコンサート	1回 90名	1回実施 142名	「JAZZの歴史とラテンのリズム」と題し、時代とともに変化するジャズとドラムスの関係性や、ラテン音楽に使用される打楽器に焦点を当てて、紹介。好評をいただいた。		
			民族音楽公演	□シルクロードの旋律を奏でる	2回 平均150名	2回実施 平均121名	概ね予定通り実施。横浜の「絹の道」をシルクロードに重ね、中国民族音楽と他民族の音楽を融合した演奏を届けました。		
			朗読公演	□朗読と音の調べ	1回 125名	1回実施 172名	高橋長英ほかによる「藤沢周平」作品の朗読と演奏。昨年逝去された野口英の追悼公演とし、ロビーに舞台写真を展示した。		
			映像公演	□サイレントシネマ&活弁ワールド	1回 150名	1回実施 155名	予定通り実施。活動写真弁士：坂本頼光、演奏：湯浅ジョウイチ。大佛次郎原作、大河内傳次郎主演「水戸黄門 来國次の巻」とバスター・キートン作品を上映した。		
評価項目				令和5年度計画		実施状況		評価	
I 文化事業		指定管理者提案(要旨)		取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価
3 次世代を担う人材を育む(使命3)	1	子どもや親子が文化芸術体験の芽を育めるような事業の開催	近隣保育園との連携	□子ども絵画展	1回	1回実施 延べ126名	予定通り実施。セント・メリー幼稚園、岩間保育園、保土ヶ谷保育園の園児による作品を展示した。	【成果】 新しく地元で活動するオペラの団体への事業協力や、岩間としては初の「オープンデー」を開催するなど、新しい取り組みを行うことができました。 2年越しで支援の取組をしていた演劇公演への協力については、団体の解散という予期せぬ事態となり、公演自体が中止となりました。地歌公演への協力を行ったことで、支援数としては予定通りとなりました。  【課題】 20年来の事業(シネクラブ/映画上映会)については、コロナ禍をきっかけに参加を取りやめた会員が来場をためらっていること、高齢化が進んでいることなどにより、全体的に参加者が減少しています。交流会含め、内容や運営手法についての再考が必要です。	【評価できる点】 ・新しく地元のオペラ団体との関係を構築し、事業協力したことについて確認できます。  ・岩間寄席は参加者が増加していることについて評価できます。  【更なる取組を期待する点】 ・若い世代の利用につながるように、ニーズを分析して新たな事業の構築などに役立ててください。  ・ウェルカムジュニアについては、新型コロナウイルス感染症が収束したことを踏まえ、従来どおりの事業の実施を検討してください。  ・新型コロナウイルス感染症の影響がなくなったため、これまで中止を余儀なくされた事業などの再開について検討してください。
			「ほどがや えかたり〜べ」との協働	□紙芝居会	1回	1回実施 30名	予定通り実施。保土ヶ谷に伝わる民話・昔話を次の世代に伝えるため、紙芝居づくりと口演を行う「えかたり〜べ」による紙芝居会		
			夏休み講座)小学生対象	□子どものための日舞ワークショップ	1回	1回実施 22名	予定通り実施。保土ヶ谷区在住の日本舞踊家による日本舞踊ワークショップ。小学生を対象に浴衣の着方や畳み方、和室での作法も学ぶ。		
	2	子どもたちの芸術活動の機会の創出	アーティストとともに学校に出向く	要請に応じて実施 □横浜市芸術文化教育プラットフォーム「学校プログラム」	4校	4校実施	学校教育と横浜などで活動するアーティストをつなぐ「学校プログラム」。学校側の要望にあったアーティストの選定や授業実施までのコーディネートを担当。令和5年度は、峯小学校、岩崎小学校、帷子小学校、富士見小学校の4校を担当した。		
			「NPO法人横浜こどものひろば」との連携	□ゼロ歳から中高生のための地域劇場	2回 平均150名	12回 平均95名	NPO法人横浜こどものひろば」と連携して行う、こども向け事業。乳幼児/幼児向けには平土間に舞台と客席を設けるなど、定員が大きく異なる公演が含まれるため平均入場者数が少なくなっているが、各回、多くの観客を集めている。		
			子どもも参加できるイベントを開催	□来て見て市民プラザ(オープンデー)(再掲) □音楽の贈り物@保土ヶ谷(再掲) □ホールのグランドピアノを弾いてみませんか(再掲)	(再掲)	実施	概ね予定通り実施。「音楽の贈り物@保土ヶ谷」は、アウトリーチに拘らず企画の趣旨に立ち返り、施設オープンデーのなかで実施した。		
			3歳から入場可能なコンサート	□午前の音楽会(再掲)	(再掲)	実施	予定通り実施		
	3	若い世代の文化芸術活動を応援	ニーズ調査と取り組み実施	■公演チケットの中高生ジュニア割引	1回	2公演で実施			
				■ウェルカムジュニア「練習系施設のお試し体験」「お仕事体験」	実施	1回実施	コロナ以降のニーズを考慮し、ホールピアノプランのなかで実施		
				■近隣大学、小中高校との連携 舞台に立つ機会の提供、地域活動	ニーズ調査 試行	未実施	4年度調査でニーズが得られず、未実施		
				■若手アーティスト公演への協力	実施	1団体/4回	立川晴の輔、落語の独演会を3か月ごと定期的に開催できるよう協力。2024年4月「笑点」メンバー入りを果たした。		
	4	新たな文化芸術への触発・経験の機会を提供	初めてのの方に親しみやすくなりやすい、鑑賞事業の実施	□午前の音楽会(再掲) □シルクロードの旋律を奏でる(再掲) □サイレントシネマ&活弁ワールド(再掲) □朗読と音の調べ(再掲) □レクチャーコンサート(再掲)	(再掲)	実施	クラシック音楽やJAZZ、民族音楽、映画に朗読など、多彩な鑑賞事業を実施した		
	5	市民の力を引き出すための、市民とともに企画した事業の実施	利用団体の活動支援、団体同士の交流		1回 参加8組	1回実施 9組参加	対バン形式のライブイベント「岩間 ROCK SPACE」を実施。演奏団体は公募するが、みどりアートパークや吉野町市民プラザの対バン企画の公募情報を共有し、各スタジオ利用団体を中心に交流を図った。		
			落語塾OBの活動の場を提供、他の講座との交流	□岩間寄席	2回 280名	2回実施 計314名	予定通り実施。「岩間落語塾」の受講生のほか、講師の他教室の生徒がその成果を口演する、アマチュア中心の落語会。「落語塾」のモチベーションになっている。		
			映画愛好者団体、岩間シネクラブの交流	□岩間シネクラブ(上映会：岩間でシネマ)	4回 平均125名	4回実施 平均113名	概ね予定通り実施。コロナやインフルエンザの報道が増えた秋・冬の上映会の集客が伸び悩んだ		
				□岩間シネクラブ サロン交流会	2回 30名	未実施	コロナ以降のニーズを考慮し、未実施		
			保土ヶ谷国際交流ラウンジへの協力	□「子どもの勉強会」への協力	20回	年38回実施 241名	保土ヶ谷区役所が委託している、1階ほどがや国際交流ラウンジの講座開催に協力。外国につながる小学生や中学生が、学校の勉強や日本語のサポートを受けている。		

令和5年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

6	文化団体や文化活動をする人の活動への協力	アートネットワーク会議やヒアリングでニーズをくみ上げ、その活動を活性化します	□アートネットワーク会議	1回	参加できず	文化施設等が連携して問題の掘り起こしや解決にあたる会議。オールスタッフ研修と重なり、参加できなかった。
		市民の文化活動を支援	□市民プラザチャンネル(再掲) □音楽の贈り物@ほ도가や(再掲) □来て見て市民プラザ(オープンデー)(再掲)	(再掲)	実施	
			□邦楽公演 □演劇公演	1回	2公演実施	等と尺八による邦楽公演と、地歌公演を支援。演劇公演については、団体の解散により中止となった。
			□アマチュア会員が活動する「出前寄席」への、備品貸出・広報協力	随時	要請無し	岩間市民プラザ外での公演等の際に、備品の貸出をおこなったり、館内外での広報の協力を行っている。
		区内文化団体への協力	□保土ヶ谷区民文化祭への協力 写真展、茶華道展、高齢者作品展	1回 参加600名	1回/3企画 836名	「保土ヶ谷区民文化祭」のうち、写真展、いけばな展、高齢者作品展の会場として協力。茶道会は今年度から保土ヶ谷公会堂に会場を移している。
			□「保土ヶ谷宿場町オペラ」への協力	(計画外)	1回	地元のオペラ歌手が企画する公演に協力。
		偕恵いわまワークスへの協力	□「わくわくマーケット」への協力	1回 300名	1回 300名	偕恵いわまワークス「わくわくマーケット」とオープンデーを同日開催。ポッチャ体験や作品展示、飲食会場として提供する等、全館あげて協力した。
		保土ヶ谷国際交流ラウンジへの協力	□「ほ도가や国際交流フェスタ」への協力	1回 300名	1回 350名	保土ヶ谷区とほ도가や国際交流ラウンジが共催する「ほ도가や多文化共生フェスタ」。日本語ビーチ、なりきり写真館、ワークショップ、世界の飾り展示等の開催に協力した。

評価項目				令和4年度計画		実施状況		評価	
I 文化事業		指定管理者提案(要旨)		取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価
4 文化芸術活動を媒介として地域の人々を結びつける(使命4)	1	市民が行う文化芸術活動を通じた街づくり活動の支援と協働	文化芸術の力で、人と街と施設をつなげる取り組み	□東海道ほ도가や宿☆魅力発見！シリーズ	1回 100名	1回実施 157名	前司馬遼太郎記念館学芸部長・増田恒男による講演「司馬遼太郎作品における横浜」と題し、司馬作品における保土ヶ谷、東海道を紹介。大変好評だった。	【成果】 「司馬作品における横浜」など、地元になんだイベントはやはり関心が高いようで、予約も早々にうまり、当日の来場率も高かったです。また講座自体も大変好評でした。 共生社会の実現に向けた3館連携事業「スクランブル・ダンス・プロジェクト」を計画に先駆けて実施しました。NPO法人「LAND FES」との提携を得てダンスのワークショップと成果発表を行うとともに、偕恵いわまワークスの協力の元、会場及び関内ホール・バックストリートギャラリーにおいて通所者の作品展示を行うこともできました。障害のあるなしにかかわらず、だれもが参加できるイベントを開催できたことは大きな成果です。  【課題】 コロナ禍をきっかけに地域活動が縮小されています。区内の施設や近隣商店街等の地元コミュニティとの連携を深め、協働事業を実施する道程を模索します。	【評価できる点】 ・地元になんだ事業を実施することは地元のニーズにも合致しており、関心を持った多くの来場者があったことは評価できます。  ・3館連携事業を予定以上に進め実施できたことは評価できます。 また、いわまワークスとの連携も取り入れ、誰もが参加できるイベントとして、より効果的な開催を行ったことは評価できます。  【更なる取組を期待する点】 ・地元になんだ事業は土地柄関心が高く、来場してもらうきっかけになりやすいため、実施回数を増やすなど、より多くの方に楽しんでもらえる企画を期待します。  ・パネル展の展示場所は来場者の動線を改めて整理し、より多くの方に見ていただけるように検討してください。  ・3館連携事業は今年度の実施を踏まえ各施設連携により効果的な展開に期待します。
				□歴史的建造物めぐりパネル展	1回 250名	1回実施 98名 ギャラリー集客数	講演会場とフロアが異なるため、講演前後にギャラリーへの人の流れを作ることが難しく、講座当日、一部パネルをホワイエに移動させて展示を見ていただいた		
				□地域理解講座	1回 30名	ホール公演に 統合	講座の集客力を考慮し、ホール開催とした		
	2	市民と施設の良好な関係を築き、地域コミュニティの 中核として認識される運営の実行	文化芸術の力で人と人、人と情報がつながる取り組み	□偕恵いわまワークス「わくわくマーケット」協力(再掲) □「ほ도가や国際交流フェスタ」協力(再掲) □保土ヶ谷区民文化祭協力(再掲) □ゼロ歳からの中高生のための地域劇場協力(再掲)	(再掲)	実施	予定どおり実施		
	3	近隣文化施設や各種文化団体、商店街、自治会等とのネットワークの構築、連携事業の実施	地域の施設間連携事業  近隣商店街との共同事業、広報連携  文化施設ネットワーク  地域商店街・市民団体との連携  ほ도가や人・まち・文化振興会との連携  東海道風景街道との連携	□保土ヶ谷区地域デザインセミナーに参加	実施	参加できず	保土ヶ谷区役所が主催する、区内の文化施設や集会所と区が連携して問題の掘り起こしや解決にあたる会議。事業とオールスタッフ研修と重なり、参加できなかった。		
				□音楽の贈り物@ほ도가や(再掲)	(再掲)	実施	アウトリーチではなく、プラザで実施		
				□市民プラザ・区民文化センター館長会	4回程度	5回実施	新予約システム導入を中心に情報交換が活発に行われた。3か月に1回の定期に加え、8月に臨時開催。		
				□東海道ほ도가や宿☆魅力発見！シリーズ(再掲)	(再掲)	実施			
				□歴史的建造物めぐりパネル展(再掲)	(再掲)	実施			
				□地域理解講座(再掲)	(再掲)	ホール公演に 統合			
	4	事業プロモーション活動を通じた地域への人の呼び込みと地域のにぎわいの創出	共同事業体の強みを活かした広報活動	□tvk番組内での告知、広報	隔月	年7回実施	原則、奇数月を岩間枠としているが、事業のタイミングをみて吉野町と告知時期を調整。効果的な広報に努めた。 3館連携事業(3/3ダンス公演)ではスポットCMを行った		
			文化事業・地域情報の情報拠点を提供	■情報コーナーでの地域情報の提供	通年	実施			
	5	みんなの市民プラザとして、様々な属性の方に配慮する	ほ도가や国際交流ラウンジと連携し、外国の方が足を運びやすい環境をつくる	■やさしい日本語での案内、多言語での表記	実施	継続実施			
				□国際交流ラウンジとの連携 日本語教室 日本語ボランティア養成講座 異文化理解講座	36回 平均40名/月	年75回 905名 平均75名/月	区内の外国人居住者の増加に伴い、日本語教室を中心に開催数が増えている。外国人住民が日常生活に必要な日本語を学ぶ「日本語教室」開催に協力。日本語ボランティアの養成講座や、日本人が外国について学ぶ「異文化理解講座」の開催にも協力した。		
			偕恵いわまワークスとの連携	■多様な市民への配慮	実施	継続実施			
				□偕恵いわまワークス「通所者作品展」	1回 参加者100名	1回実施 159名	予定どおり実施。前年度まではカレンダーの販売に合わせた原画展を行ったが、カレンダー販売が無くなったため、時期を変更して開催した。		



令和5年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

6	市民プラザが「みんなの広場」となるような取組の実施	NPO「LAND FES」との連携	<input type="checkbox"/> インクルーシブ・ダンスワークショップ(3館連携)	計画・準備	1事業実施 2講座 1公演	NPO「LAND FES」山海塾のダンサー・松岡大によるプロジェクトを予定に先駆けて実施。成果発表まで行った。インクルーシブ・ダンスワークショップをプラザ2館で、それぞれ平日夜、土曜日中に分けて開催。翌日の「ROCKS plus」公演の1つのパート、タテタカコとのセッションとして披露した。併せて、信恵いわまワークス通所者作品をロビーに展示。
		信恵いわまワークスとの連携	<input type="checkbox"/> 通所者作品展(再掲) <input type="checkbox"/> わくわくマーケット(再掲)	(再掲)	実施	通所者作品展だけでなく、オープンデーやダンス公演でも作品を展示して紹介。トリエンナーレに併せて、関内ホール脇のバックストリートギャラリーでの展示を行った。ワークスからは、継続して「岩間でシネマ」に喫茶10 & オフ特典の協力を得ている。
		国際交流ラウンジとの連携	<input type="checkbox"/> 日本語教室(再掲) <input type="checkbox"/> 日本語ボランティア養成講座 <input type="checkbox"/> 異文化理解講座 <input type="checkbox"/> ほどがや国際交流フェスタ	(再掲)	実施	通年実施。業務計画より多く、会場を提供した。
		NPO「横浜こどものひろば」との連携	<input type="checkbox"/> ゼロ歳から中高生のための地域劇場(再掲)	(再掲)	実施	通年実施。
		保土ヶ谷区民文化祭との連携(再掲)	<input type="checkbox"/> 保土ヶ谷区民文化祭との連携(再掲)	(再掲)	実施	予定通り実施。
		保土ヶ谷華道会との連携	<input type="checkbox"/> 1階ロビー 装花1台常設	通年	通年実施	保土ヶ谷華道会の協力により、通年実施した
		利用団体同士の交流	<input type="checkbox"/> 3フロビーの共有による交流	通年	継続実施	予定通り実施
			<input type="checkbox"/> 利用団体同士の交流 「来て見て市民プラザ」(再掲)	(再掲)	実施	オープンデーの中で実施
7	「市民プラザ未来開発プロジェクト」の実施	■文化芸術の力による地域コミュニティの再生	■保土ヶ谷宿場祭りに協力し、人をつないで新たな担い手を発掘する	実施	協力	相談・要請に基づいて協力を行った
		■コンテンツの配信、アーカイブスの構築	■3館連携の専用サイトでの配信に向け、情報共有する	実施	準備・制作	コンテンツ共有の準備としてプラザ2館の施設HPを更新するため、協議を重ね、制作に着手した。
		■次世代来館者の育成	■地域コミュニティと文化を考える、青年層を対象としたチームを組み上げる	準備	未実施	5類移行後も、コロナの影響やインフルエンザの流行により、コミュニティ活動は依然自粛が続いており、時期尚早と判断した。

評価項目			令和5年度計画		実施状況		評価	
Ⅱ 施設運営		指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価
1 利用者意見の収集と対応(使命1ー(2))	1	様々なニーズに対応するサービスの提供	■貸館公演のチケット販売や広報に協力	実施	継続実施	貸館公演と近隣で開催される文化イベントのチケットの受託販売と広報協力を通年行った	【成果】 チラシの配架協力のほか、貸館公演や地域の方の参加しやすそうな事業についてはチケットの受託販売を行い、様々な文化事業とお客様とをつなげることで、施設の総合的なサービス向上に努めました。  【課題】 ホールの利用が、本番公演よりも練習利用の方が多くなる傾向にあります。館のにぎわいとなる新規来館者増のためにも本番公演を増やすことが必要ですが、建物と設備面の劣化・陳腐化が課題です。	【評価できる点】 ・様々な事業と利用者をつ結び付け、施設利用満足度向上に向けて努めていることについて確認できます。  ・通常相談に加え、新予約システム稼働に伴う問い合わせにも柔軟に対応したことについて確認できます。
			■利用に関する相談・助言は、随時受け付け	実施	継続実施	施設利用についての相談のほか、新予約システムの使い方や登録に関する問合せや苦情に対応した。類似案件の確認で未然に事故を防ぎ、想定外のルール変更なども確認しながら正確な情報提供に努めた。		
	2	利用率を高める工夫	■利用促進のため、ホール・ギャラリーの割引を制度設計し、市に申請する	実施	案を提出	ギャラリーU25プラン実施に向け制度設計し、横浜市に案を提出した。検討・承認待ち。		
			■ホール、ギャラリーを利用内容を伺いながら直前まで受付ける	実施	継続実施	4週を切る申込は期間外だが、内容確認の上、対応可能な練習利用等については予約を受付。		
	1	必要人材の配置と職能	□施設見学会「ホールたんけんツアー」(再掲) □来て見て市民プラザ(再掲) □ホールのグランドピアノを弾いてみませんか(再掲)	(再掲)	実施		【成果】 4月の年度当初だけでなく、年度途中でもスタッフの入替がありました。引継ぎはスムーズにできました。各種研修についても全スタッフを集めての研修の他、即時に情報共有する必要のある事項については日常業務の中でもこまめに行いました。 当期は、プラザ2館合同で外部の講師をお招きしての研修も実施できました。  【課題】 施設点検日の異なる吉野町・岩間2館合同の研修については、全スタッフを集めて行うことが、日程的に困難です。予約システム更新の前後半年間は毎日のように操作・運用状況・運用方針の確認や修正・変更がありましたが、センターからの回答が一対一で、システム全体の不具合や解決までの進捗把握が困難でした。システム内のわかりやすいエリアに、全館からの事象報告とそれへの対応方法や、更新・変更状況(変更前と変更後の情報)がプールされ、最新情報が公開されていれば、もう少しスムーズに対応できたかもしれません。	【更なる取組を期待する点】 ・施設の不具合については市との連絡調整を密に行い、施設運営に支障が起きないよう進めてください。  ・記載はありませんが、5月に個人情報漏洩となる事案が発生しています。効果的な研修、OJTを実施してください。
			■共同事業体各社から業務ごとに専門性の高い職員を適正に配置する。	実施	実施			
			□館長(1)、副館長(1)、サービス担当(1)、企画・コミュニティ担当(2)、運営補助(3)、受付担当(5)	配置	継続配置			
			□舞台技術担当(1)	配置	継続配置			
			□設備担当(1)	配置	継続配置			
			□清掃担当(1)	配置	継続配置			
	2	情報の共有	申請送りの手法の確保	■メールや日報のほか、Google共有ツールを活用して情報共有	実施	継続実施		
			□朝礼	1回/日	1回/日実施			
			□職員会議	1回/月	1回/月実施			
			□運営会議;運営面の課題、ノウハウの共有	四半期に1回	年4回実施			
			□プラザ連絡会議;施設運営のすり合わせ、共同企画	四半期に1回	年5回実施	四半期ごとの定例会に加え、市の要請により窓口キャッシュレス決済について検討するため、臨時で1回会議した。		
			■企画検討会;事業計画立案、評価 ※必要に応じて実施	随時	1回実施	インクルーシブ・ダンスワークショップ&「ROCKS plus」公演(3館連携)、「岩間 ROCK SPACE」と「吉野町音楽空間」での2館連携事業を実施した。次年度以降に実施する事業のアイデア出しをした。		
			■一体プロジェクト推進会議 ※必要に応じて実施	随時	1回実施	「吉野町音楽空間」を素材にライブ撮影講座を計画した。		

令和5年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

2 組織的な施設運営 (様式14,15)	3	主要人材の能力担保に向けた基礎研修の実施	効果的なOJTの実施	■職員各々に応じたOJTについて年間を通じて実施する	実施	実施	新任者OJTのほか、新予約システムに関する研修とOJTを実施。新予約システムの操作方法や変更点の確認、不具合やその対処方法の共有により、利用者への影響を最小限に留めることができた。
			サービスレベルの統一とホスピタリティ向上につながる研修	□接遇研修	1回/年	1回実施	利用者対応の基本を再確認。快適なサービス、1対1対応、言葉選びなどを具体的に研修した。
				□人権研修	1回/年	1回実施	外国人の来館者が多いことから、外国人差別について研修。
				□バリアフリー研修	1回/年	1回実施	貸出用車椅子の使い方、電動車椅子を誘導する際の注意点などを研修
				□個人情報保護研修	1回/年	3回実施	受付業務に落とし込んだ研修。個人情報の範囲と書類等の取り扱いについて再確認。
				□コンプライアンス研修	1回/年	3回実施	ホウレンソウの確認。研修後、受付脇ホワイトボードの表記方法について話合った。
				□防災訓練	2回/年	2回実施	事業所ごとに1回、プラザ4事業所の合同で防災訓練を実施。
				□危機管理研修	1回/年	1回実施	一般的な研修に加え、個人情報流失につながる新予約システム上のバグを発見し、対処を共有するなどした。
				□救急救命講習/AED	1回/年	1回実施	河川の氾濫前に情報収集の手段
				□機材研修	1回/年	1回実施	レクチャールームの音響機材を中心に研修
				□受付業務研修	2回/年	7回以上実施	貸館等の受付業務に関わる研修に加え、新予約システムに関する研修を複数回行った。
				■新採用・新規配属者研修	随時	2回実施	着任時研修のほか、半年後にブラッシュアップ研修を実施した
			市民プラザ2館合同研修	□文化政策研修	1回/年	年1回実施	文化コモンズ研究所・吉本光宏を講師に「拡張する文化芸術の役割」について研修。文化政策の動向を学んだ。
				■アイデア研修	随時	年1回実施	2館連携事業を検討。「吉野町音楽空間」を素材に、2館合同で映像講座(写真)を実施することになった。

評価項目			令和5年度計画		実施状況		評価	
Ⅱ 施設運営		指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価
3 施設全体の運営に対するアイデア・ノウハウの一層の活用 (様式25)	1	市内に拠点を置くメディアを代表する企業とする強みを活かした広報・プロモーションに対する取組み	従来の利用者、近隣在住者の多くを占める高齢者層へは、テレビや新聞折り込み、市の情報誌で情報発信	□tvk「猫のひたいほどワイド」等、昼の情報番組やスポットCMでの告知	2回/年	年7回実施	【成果】 TVの情報番組を利用したの広報は、吉野町・岩間・関内3館で融通しあい、また、スポットCMを打つこともでき、沿線エリアよりも広いエリアを対象とした広報ができました。  【課題】 まだまだアナログな手法(葉書を用いたDM等)が多く、試験的にQRコードを利用したのアンケート回収などを行ったもののレスポンスが思わしくなく、当館においては、SNSの有用に課題があります。	【評価できる点】 ・吉野町、関内ホールと連携して効果的な広報を実施したことについて確認できます。  【更なる取組を期待する点】 ・SNSによる広報は広範囲に効率的にできる広報手法といえます。現在の利用者だけでなく新たな利用者拡大を見据え、効果的な情報発信方法を検討してください。
			現役世代～若年層に向けては、インターネット、SNSで情報発信	□地域メディア「タウンニュース」「相鉄瓦版」への掲載	2件/年	年2件掲載		
				■施設ホームページを基本に、施設利用促進や自主事業の情報発信を行う	実施	実施		
			情報弱者に寄り添った、無料で入手できる媒体の活用	■SNSの活用方法を検討する	実施	検討		
				□「催し物案内」を発行し、近隣施設等でも配布	12回/年	年12回 13事業掲載		
				□「広報よこはま」「タウンニュース」「相鉄瓦版」での情報発信(再掲)	(再掲)	実施		
	2	関内ホールとの3館連携	■吉野町市民プラザ、関内ホールと連携し横浜全体で楽しむ事業を展開する	計画・準備	実施	インクルーシブ・ダンスのワークショップと公演を3館連携で、写真講座と対バンライブを2館連携で実施		
4 その他施設運営に関する事項	3	コミュニティ形成への寄与	■こども110番あんしんの家に登録し、地域の安心拠点として活動する	実施	継続実施		【成果】 必要な届け出を行い、各所に適正な届け出をしています。  【更なる取組を期待する点】 ・特筆すべき事項はありません。	【評価できる点】 ・必要な届け出を適切に行っていることを確認できます。
	1	休館日の届け出	■休館日、閉館時間について年度ごとに横浜市へ届出を行う	実施	実施			
	2	許認可及び届け出	■許認可の取得や届出を必要とする場合は関係各所に対し適正に申請を行う	実施	実施	施設運営に必要な届け出と、施設貸し出しに関わる届出を行った		
	3	目的外使用料の申請	■自動販売機等の目的外使用の手続きを実施	実施	実施			
	4	財務状況の確認	■横浜市の要請に応じ財務状況について確認できる書類を提出する	実施	実施			
	5	行政機関が策定する基準などの遵守	■行政機関が制定する基準などを遵守	実施	継続実施 新予約システムにあった改訂案提出	条例や規則に沿って施設を運営し、定期的な施設点検を実施して建物管理の基準等を遵守した また、新予約システムにおいて条例等に合わない事項を整理し、取り扱いの確認と帳票等の修正を依頼するとともに、「利用要綱」の改訂案を提出した		
	6	法律の制定及び改正への対応	■法律が制定及び改正された場合、横浜市と協議し対応	実施	実施			

令和5年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

評価項目			令和5年度計画		実施状況		評価	
Ⅲ施設管理		指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価
1 保守管理業務 (使命5)	1	施設の総合管理による安全・安心の提供と効果的な維持管理	設備保守管理業務	■日常的な設備点検・清掃等、環境に配慮した清潔で安全・安心な施設管理を行う	実施	実施	【成果】 設備員や舞台スタッフによる機器の日常点検のほか、利用者が入れ替わるごとに行うスタジオ等の室場チェックの際に聞き取りと備品チェックを行い、不具合発見時には速やかに予備品交換や補修を行って、遅滞なく利用に供しました。日常的な機材のパーツ交換は、職員で行えるよう、スキルの平準化を図っています。  【課題】 設備や機材自体が古くなってきており、修繕パーツの入手が困難なものが増えて、故障時に休館等を伴う案件ができました。また、雨漏りや漏水等の建物全体に関わる不具合が増えてきており、複合施設の改修の難しさが問われています。	【評価できる点】 ・日常的な点検を着実に実施し、不具合が起きても速やかに対応することで、利用に支障が起きないようにしていることを確認できます。  ・機材のパーツ交換を職員ができるようにスキルの平準化を行っていることについて評価できます。  【更なる取組を期待する点】 ・施設の不具合については、引き続き市との情報共有を積極的に図り、施設の運営に支障を来さないよう日常的に確認するよう継続的に取り組んでください。
				■「業務の基準別添資料 6」に基づき、法定点検・日常点検・定期点検・清掃を実施	実施	実施		
				■常駐設備員による日常巡回で施設設備の不具合の有無を点検する	実施	実施		
				■舞台周りを適切に管理することで舞台設備の維持管理と運用を図る	実施	実施		
				■併設施設である、偕恵いわまワークス、国際交流ラウンジ、保土ヶ谷区地域子育て支援拠点サテライトについても施設面のアドバイスをを行う	実施	実施		
			計画的な修繕	■日常巡回で不具合を軽微なうちに発見し、初期対応することで未実施の不具合箇所を減らす	実施	実施		
				■中長期的な修繕計画を立て、施設・設備・備品等の長寿命化に努める	実施	実施		
				■不具合対応は優先的順位をつけながら、横浜市と協議の上修繕を行う	実施	実施		
			備品等の適切な管理	■「業務の基準」に則り、物品管理簿により備品を管理	実施	実施		
				■スタジオ入れ替え時等の機材点検で備品の状態を把握	実施	実施		
				■備品の更新は長寿命化と経費節減の観点で横浜市と協議	実施	実施		
				□年1回、物品管理簿の棚卸を行い、物品が適切に管理されているか確認し、市に報告する	実施	実施		
2 環境維持管理業務 (使命5)	1	施設の総合管理による安全・安心の提供と効果的な維持管理	日常清掃・定期清掃	■「管理基準」により、地球環境に配慮しながら、快適な環境を維持する	実施	実施	【成果】 ごみの処分方法の変更もあり、管球類等は他の廃棄物とは別に処分をしました。  【課題】 管球がLEDに切り替わるなか、管球取り付け部分が破損した灯具やLED管球に対応できない灯具もあり、一般照明のLED化が遅れています。併せて、一部、照度の確保が困難になっています。	【評価できる点】 ・各項目について、適切に実施していることが確認できます。  【更なる取組を期待する点】 ・施設の不具合については、引き続き市との情報共有を積極的に図り、施設の運営に支障を来さないよう日常的に確認するよう継続的に取り組んでください。
			感染症対策	■日常清掃や施設利用時、点検時にアルコール等を用いた除菌を行う	実施	実施		
			廃棄物処理及び環境への配慮	■年間排出計画を定めて適切な分別、リサイクル化の推進など廃棄物の発生抑制に努める	実施	実施		
			空気環境測定	□隔月実施	6回/年	年6回実施		



令和5年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

評価項目			令和5年度計画		実施状況		評価	
Ⅲ施設管理		指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価
3 保安警備業務 (使命5)	1	施設の総合管理による安全・安心の提供と効果的な維持管理	開館時の対応	■開館中は施設内巡回、ITVで常に状況を把握し、異常が疑われる際には職員が現場確認して関係機関に通報する	実施	実施	事件事故無し	【成果】 複合施設であるため、建物全体に関しては他の事業所エリアの不具合情報の収集や報告、工事立ち合いなどを行いました。 AEDについてはリース終了にあわせて機器の入替を行いました。  【課題】 雨漏りや漏水がどの程度設備に影響しているかが不安です。消防設備の誤作動・機械警備のセット不良など、再現しない設備の電気系統への不具合が散見されます。
			閉館時の対応	■最終退館から出勤までは機械警備で監視し、異常時は警備スタッフが急行する	実施	継続実施	事件事故無し	
	2	地域の安心拠点としての行政や警察との連携	子どもへの配慮	■こども110番あんしんの家に登録し、地域の安心拠点として活動(再掲)	(再掲)	継続実施	事件事故無し	
4 防火・防災等 (使命5・様式14)	1	平常時の防災対策	消防法への対応	□消防法に基づき、甲種防火管理者を選任した上で防災計画書を作成する	実施	継続実施	定例会として1回開催。以降、雨漏りの都度、現場確認を行い、相關関係の把握に努めた。ワークス2階作業場で排水加工をしたところ、こっころサテライトの玄関先の雨漏りが無くなった。	
				□統括防火管理者を選任し、全館合同で防災訓練を実施する	防災訓練2回	継続実施		
				□複合施設の管理者連絡会を定期的に開催し、情報を共有して日常の防火・防災に努める	3回/年	随時実施		
			防災マニュアルの作成	■横浜市防災計画に基づき、対応マニュアルをあらかじめ作成する	実施	継続実施		
			AEDの配備	■AEDを導入し、適切な管理及び職員への十分な操作研修を実施する	実施	継続実施		
	2	災害時の対応	河川増水時の対応	■川の水位や潮位、防災無線に留意し、防潮板設置基準に従って建物への浸水を防ぐ	実施	継続実施	氾濫水位無し	
5 緊急時の対応 (使命5・様式14)	1	施設の総合管理による安全・安心の提供と効果的な維持管理	地域との連携	■保土ヶ谷区と連絡を密にとり、要請があった場合には避難者を受け入れる。併せて、福祉避難所である借恵いわまワークスと連携を図る	実施	継続実施	館内事業所と自治会と一時滞在の契約や条件、それぞれの範囲を確認した。福祉避難所、自治会、プラザはそれぞれエリアを分けて一時避難場所とするが、こっころサテライトは安全なうちに帰宅を促し、閉館する。閉館できない場合は、河川の氾濫を避けるためプラザを一時滞在先とした。	【成果】 計画通りの災害備蓄品入替を行いました。 建物内4事業所間で日常的に連絡を取り合い、大雨が予想される際には連携して防潮板を設置するなどの協力体制がとれています。  【課題】 災害時に一時避難所として市民を受入れたいところですが、警戒の必要な河川や漏水被害の心配があります。まずは施設の安全性の確保のための修繕が必要です。
			施設管理者の災害備蓄	■大規模災害に備え、保存食や簡易トイレなど災害備蓄品を常備し、適切に維持管理する	実施	継続実施		
6 感染症等衛生管理 (使命5)	1	施設の総合管理による安全・安心の提供と効果的な維持管理	新型コロナウイルス等の感染症対策	■ガイドラインに準拠し、施設と設備の消毒等を行う	実施	継続実施	感染症対策に努め、安心・安全な施設提供をした	【成果】 コロナ5類移行後も、マイク等の貸し出し備品については定期的な消毒を継続、また、手指消毒液の設置も継続して行っています。  【課題】 機械空調・機械換気をしていますが、空調設備の故障頻度が上がっています。
				■空調設備や給排気システムを点検し、貸出施設や共用スペースの換気量を維持する	実施	実施		
7 その他施設管理に関する事項	1	施設の管理を行う上で必要な資格者の配置		□電気主任技術者(第3種)	配置	継続配置	【成果】 配置しています。	

令和5年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

評価項目		令和5年度計画		実施状況		評価	
Ⅳ 収支		指定管理者提案(要旨)	取組内容	目標	年間実績	説明	
1 利用率の目標設定 (様式22-C)	1	利用率の目標	□ホール(日単位)	93%	93%	本番公演利用もどおりつつあるものの、全体的にみて練習利用が多い	<b>【成果】</b> ホール利用については、日ベースで見れば利用が戻りつつあるものの、1コマ利用や練習利用が多くなってきました。ギャラリーは天井高が無く展示利用が少ないため、2か月前以降は内容を確認しながら日単位の貸出、目的外の利用(講習など)にも利用可としています。  <b>【課題】</b> 音楽利用が多い施設ですが、2重扉でないためスタジオ間の音もれがあったり、リハーサル室やレクチャールームは防音設計されておらず音量や楽器に制限をしていたりと、受付時に説明を要する室場が殆どです。将来的なオンライン審査を見越して利用制限を原則に戻したため、特にリハーサル室やレクチャールームの予約に混乱が生じています。
			□ギャラリー(日単位) ※予約は週単位	54%	41%	高齢化による団体の解散、SNSでの公開等により、展示の需要が減少している。また、新予約システム導入に伴い、目的外利用が設定できず、営業努力が難しくなった	
			□リハーサル室(コマ単位)	74%	48%	新予約システム導入に伴い、オンライン審査に耐えるため、条件付きの貸出を取りやめ、音楽利用の制限を元に戻した。	
			□レクチャールーム(コマ単位)	60%	61%	新予約システム導入に伴い、オンライン審査に耐えるため、条件付きの貸出を取りやめ、音楽利用の制限を元に戻した。	
			□スタジオ(4室平均)(コマ単位)	81%	84%		
2 指定管理料のみに依存しない収入構造 (様式23)	1	収支の安定に向けた取組	共同事業体それぞれの専門性を活かした、事業収入の安定化を実現します	■さまざまな広報媒体を通じて、事業のプロモーションを行う	実施	実施	<b>【成果】</b> 利用率はコロナによる利用制限設定前の状態に戻りつつあります。  <b>【課題】</b> 新しい予約システム導入により当日支払の対象期間が延び、いわゆる「ノーショー」となるケースが増えてきています。ペナルティーが無いため予約が解除されず、利用希望者がいても室場提供ができないものです。利用者サービスの低下だけでなく、利用料収入にも影響が出ています。
			安心安全で使いやすい施設運営で、利用率と利用料収入の向上を目指します(様式24-C)	□施設、附帯設備、駐車場利用料(収納日基準/前年度収納分を4月に計上)	17,000千円	¥18,274,230	
			新たな利用者の獲得により、利用率向上を図ります	■頻度の多い利用形態のサンプルプランを示して利用料金の総額を示す	実施	実施	
				□新規利用者獲得の取組を導入する	2件/年	年2件実施	
			割引優遇制度など独自の利用料金制度が利用促進につながるか、調査・検討します	■ホール・リハーサル割引期間の拡大(再掲) ■ギャラリー・U25プラン(再掲)	(再掲)	案提出	
	2	収入増への取組(使命5)	外部資金の導入	■要望に応えるため、料金設定のない場所について撮影料金を新設する	実施	未実施	
				■広告収入、協賛金、助成金、クラウドファンディング等での資金獲得を積極的に行います	実施	実施	
				□外部資金獲得のため情報を収集し、補助金等に申請します	1件/年	1件/年	
				■クラウドファンディングの具体的な手法を検討する	実施	未実施	
3 経費削減等効率的運営の努力 (様式23)	1	効率的な施設運営に向けた取組	事業への対応	□年間の事業収支バランスをとり、支出が収入を上回らないようにする	±0円以上	+89千円	<b>【成果】</b> 経費削減のため、1月より電気事業者の変更を行い、当初の予算想定額より電気料を抑えることが出来ました。当期は年度途中でスタッフの入替等もありましたが、共有のデータベースやGoogle機能の利用により、引継ぎはスムーズにできました。  <b>【課題】</b> 優先順位をつけて修繕計画をたてていますが、予想を上回る頻度で故障・不具合が発生しているうえ、規模が大きくなっています。
				■共同事業体本社の応援により、外部発注による経費を抑制する	実施	実施	
			発注や事務への対応	■見積合わせや電力調達の合同入札により、支出を抑える	実施	実施	
				■事務用品の再利用や計画的な業務遂行により、経費や作業時間の節減を図る	実施	実施	
			施設・設備管理への対応	■効率的な運用で事務費・管理費等を縮減。職員の意識を高めて経費削減を徹底する	実施	実施	
				■感染症対策のための換気を優先しつつ、使用量を削減して、光熱水費削減に努める	実施	実施	
				■点検により施設と設備の状況を把握し、計画的に修繕して経費の平準化と抑制を図る	実施	実施	
			人件費への対応	■グループウェアや共有サーバーを活用して情報を共有。業務を補完するとともに、貸館や来館者対応を全員で行い超過勤務を抑制する	推進	実施	
			執行管理への対応	■毎月の試算表により執行管理を行い、期中の仮決算で収支予測を立て、修正予算を作成することで収支のバランスを取る	実施	実施	



令和5年度 横浜市岩間市民プラザ 指定管理業務計画表兼評価表(自己評価・行政評価)

V 各種計画書・報告書の作成及び業務評価		業務の基準		取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価			
各種計画書・報告書の作成	1 日報、月報の作成・管理			□業務日報の作成	実施	実施	施設点検日を含め、通年実施した	【成果】 適切に作成しました。	【評価できる点】 ・各項目について適切に実施していることが確認できます。  【更なる取組を期待する点】 ・特筆すべき事項はありません。			
				□管理運営月報・完了確認表を作成し、モニタリングにおいて報告	実施	実施	月報や完了確認表を作成し、月例モニタリングで、2館の運営状況を所管課に報告した					
	2 事業計画書・事業報告書の作成・管理			□事業計画書(業務計画・業務計画表)の作成	実施	実施						
				□モニタリング時における業務計画表での進捗報告、および事業報告書の作成	実施	実施						
	3 業務評価の実施			□自己評価	実施	実施						
VI その他		選定要項		取組内容	目標	年間実績	説明	自己評価	行政評価			
1 市の重要政策課題への対応 (様式26)	1 個人情報保護についての取組	個人情報の保護に関する法令等を遵守し、個人情報を適正に取り扱います		■「個人情報取り扱いマニュアル」を整備し、ダブルチェックを徹底します	実施	実施	許可書の誤交付1件。新予約システムの不具合により2つの申込に同じ予約番号が附番されているのを発見し、サービスセンターと相手方施設に連絡。流出事故を未然に防いだ。後日、同様の事故が相手方施設でも発見された。	【成果】 他館との連携によって、新予約システムの不具合に起因する個人情報漏洩を未然に防ぐことが出来ました。  【課題】 研修をおこなっているものの、当期は許可書の誤交付が発生してしまいました。 日常業務でも、書類交付・郵送・ファックスなどにおいて、ダブルチェック・トリプルチェックを徹底し、継続する必要があります。	【評価できる点】 ・新システム稼働時に個人情報の漏洩を未然に防ぐことができたのは評価できます。  【更なる取組を期待する点】 ・誤交付については、個人情報を扱う事業者としてあってはならないことです。ただ単にチェックの回数を増やすことにとどまらず、原因を深く分析することや、そもそもの事務処理過程を見直すなど、二度と起こさない改善をお願いします。			
				□個人情報研修(再掲)	1回/年	実施	受付業務に落とし込んだ研修を実施。個人情報の範囲と書類等の取り扱いについて確認した。					
	2 情報公開についての対応	情報発信		■ホームページ等で業務計画、業務報告、事業・施設の状況を積極的に提供する	実施	実施	施設ホームページのアイコンから、横浜市のサイトにリンクして公開している					
				■「横浜市の保有する情報の公開に関する条例」に準じて作成した「情報公開規程」等に基づき適正に対応する	実施	継続実施	情報公開の要請1件あったが、第三者の個人情報の公開要請だったため、経緯を説明して非開示とした。					
	3 人権尊重についての取組				□人権研修(再掲)	1回/年	1回実施					
	4 環境への配慮について	エネルギー使用量の削減  廃棄物の削減と資源再生		■施設の利用状況に合わせて不要な点灯や空調稼働を最大限抑止する	実施	実施						
				■広報手法の多様化にあわせ公演チラシの作成部数を抑制する	実施	実施						
				■利用者によるごみの分別状況を確認し、分別の徹底を依頼する	実施	実施						
	5 障がい者に対する差別解消について				□障がい者対応研修(再掲)	1回/年	実施					
	6 男女共同参画についての対応				□男女共同参画の取り組みについての研修	1回/年	実施					
	7 市内中小企業優先発注について				■「横浜市中心企業振興基本条例」に鑑み、可能な限り、市内に主たる事務所を有する中小企業に優先的に業務を発注する	実施	実施					
	2 その他	1 保険及び損害賠償の取扱い			■「指定管理者業務の基準 別添資料」に基づき施設賠償保険、動産総合保険、レジャー・サービス施設費用保険に加入する	実施	実施				【成果】 複合施設の他事業者と連携しての合同訓練を実施しました。漏水については、横浜市だけでなく保土ヶ谷区とも情報共有をして、プラザ全体の問題として取り組みました。 吉野町・岩間・関内ホール3館連携事業は、計画より一年早く実施することができました。この事業では、併設の借恵いわまワークスの協力を得て、アートでも共生を表現することが出来ました。  【課題】 雨漏りや湧水等の浸水被害箇所が増え、水量も増加しています。水路も分からず、金属が腐食し穴が空いたり、錆びたりしているため、漏水の影響がどこまで出るかの予測がつかない状況です。	【評価できる点】 ・3館連携事業を前倒して実施できたことは評価できます。 ・複合施設内で連携し、課題の共有等を行ったことが確認できます。  【更なる取組を期待する点】 ・雨漏りについては建物内での情報共有を密に行い、状況を注視し、引き続き市との連携に努めてください。
		2 関係法令等の順守			■現行の関係法令を順守するとともに、法令改正に気を配り、契約等の前に確認する	実施	実施					
3 市及び関係機関等との連絡調整		横浜市との連携		■事故や不具合時は速やかに報告し、随時共有する	実施	実施						
		複合施設の連携		■併設する施設(借恵いわまワークス、ほどがや国際交流ラウンジ、保土ヶ谷区地域子育て支援拠点サテライトと連携し、運営改善や防災、修繕について検討する	実施	実施	防災と漏水情報を共有し、対策にあたった。漏水については横浜市と保土ヶ谷区とも情報を共有し、建物全体として建築局の技術相談に対応した。					
				□情報共有や運営改善のための連絡会を定期的に開催	3回/年	実施	定例会として1回開催。以降、雨漏りの都度、現場確認を行い、相関関係の把握に努めた。建物全体で技術相談を行った。					
		地域との連携		■地域組織の会合等に参加する	実施	実施	文化祭実行委員会、区老連、地域交流室運営委員会に参加した。					
4 2つの市民プラザを一体で運営し、さらに関内ホールも含めた3館連携、またその先の連携を目指す				■2館連携、3館連携事業を企画・実施する	計画・準備	実施	予定より早く、3館連携してインクルーシヴ事業を実施した。 対パイベントは、みどりと吉野町と開催時期を調整。広報と当日運営を相互協力した。吉野町と合同で写真講座「ライブを撮ろう」を実施した。					
				■tvk「猫のひたいほどワイド」番組内コーナーでの事業告知を両プラザ交互に行う	実施	実施	原則、奇数月を岩間枠としているが、事業のタイミングをみて吉野町と告知時期を調整。効果的な広報に努めた。					
				■人的資源やノウハウを2館共通で活用し、管理・運営面でも連携する	実施	実施						

評価	
自己評価	行政評価
【成果】 コロナ新型感染症が5類に移行し、サークルや団体の活動がもどりつつあります。主催事業についても、参加者が戻ってきている状況です。比較的高齢者の参加が多かった映画の上映会については低いままではありますが、音楽事業は特に以前の参加者数レベルに戻しております。地域でのイベントの参加については実施が難しいものもありましたが、来年度の参加に向けて準備を始めています。	【評価できる点】 ・公演や広報において3館連携を進め事業を効果的に実施したことについて評価できます。  ・幅広い音楽公演コンサートや朗読、映像公演の実施、リピーター向けの3回セット券の販売など、来館者を増やす取組を行い、収入実績が目標を達成したことについて評価できます。  【更なる取組を期待する点】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により中止を余儀なくされた事業については、ニーズを把握しながら事業再開や新たな事業展開を検討してください。  ・補助金や広告料については、施設を安定的に運営するために必要な収入源の一つです。目標の枠にとどまらず、機会を捉えて拡充していくことを期待します。  ・施設のハード面での課題については、建物内他の事業者との情報交換を密に行い、状況を注視し、市との連携に努めてください。特に利用者に影響が及ぶような課題は市との相談を早急に行い、対応策を検討するようにしてください。